

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 31, No. 3 ACTA UROLOGICA JAPONICA March 1985

泌尿器科紀要

第31巻 第3号 1985年3月

腎細胞癌に対するα型インターフェロンの治療成績	川村 寿一・ほか	377
腎細胞癌における腎動脈塞栓術	山崎 義久・ほか	387
蔞酸酸化酵素を用いた新しい尿中蔞酸定量法(市山法)について	野々村光生・ほか	397
膀胱腫瘍におけるThomsen-Friedenreich antigenに関する研究	小田 芳経	407
無カテーテル尿管皮膚瘻における細菌感染の検出について	松田 聖士・ほか	419
男性不妊に関する研究		
—in vitroにおけるヒト精子 acrosome reaction—	岡田 弘	429
慢性細菌性前立腺炎に対するrifampicinと		
ST合剤の併用療法および抗生剤局注療法について	山本 雅憲・ほか	441
片側性副腎結核の1例	上田 陽彦・ほか	449
腎盂尿管移行部および尿管膀胱移行部狭窄を		
合併した小児馬蹄鉄腎	朴 勺・ほか	457
原発巣の診断が困難であった腎細胞癌の2例	川喜田睦司・ほか	463
両側三重尿管の1例	庄田 良中・ほか	475
盲管重複尿管の1例	田中 重人・ほか	483
巨大膀胱憩室の2例	藤岡 知昭・ほか	489
オリーブ橋小脳萎縮症による神経因性膀胱に対する		
Thyrotropin Releasing Hormoneの使用経験	村山 和夫・ほか	495
多発性内分泌腺腫症(MEA)		
1型に発生した原発性膀胱腺癌の1例	高士 宗久・ほか	499
腫瘍切除と化学療法にて治癒せしめた		
再発せる小児睾丸卵黄嚢腫の1例	寺地 敏郎・ほか	507
睾丸類表皮嚢腫の1例	東條 雅季・ほか	517
潜在性睾丸腫瘍の1例	松瀬幸太郎・ほか	521
陰嚢内悪性線維性組織球腫の1例	宮城徹三郎・ほか	527
抗生物質の術後創内移行に関する研究	守殿 貞夫・ほか	533
Latamoxef Sodium(LMOX)の前立腺組織内濃度	高尾 雅也・ほか	539
前立腺肥大症の保存的療法		
—八味地黄丸の増量による臨床効果の検討および「証」と		
臨床効果の関係について—	八竹 直・ほか	545
前立腺肥大症にともなう排尿障害に対するロパペロン錠		
(KN-7)の効果に関する研究	園田孝夫・ほか	553

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (3) 原稿の表紙に標題、所属機関名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田：または山田・ほか：) と、2語 (例：前立腺がん・PSA) からなる **running title**。
 - (4) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語 (英文) 以内の **Key words** を付す。抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (5) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、**Key words** (和文に準ず)、**running title** (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、所属機関名、著者名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (6) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (7) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースとて紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (8) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3,~10)} によると)
雑誌の場合—著者名 (全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名 (全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (9) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (10) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (11) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷
実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修 (主 幹)

泌尿器科紀要 第31巻 第3号 1985年3月25日 印刷 1985年3月31日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
